

弦巻中学校 改築基本構想中間説明会

令和4年6月29日(水)

第1回16:00～

第2回19:00～

世田谷区教育委員会事務局教育環境課

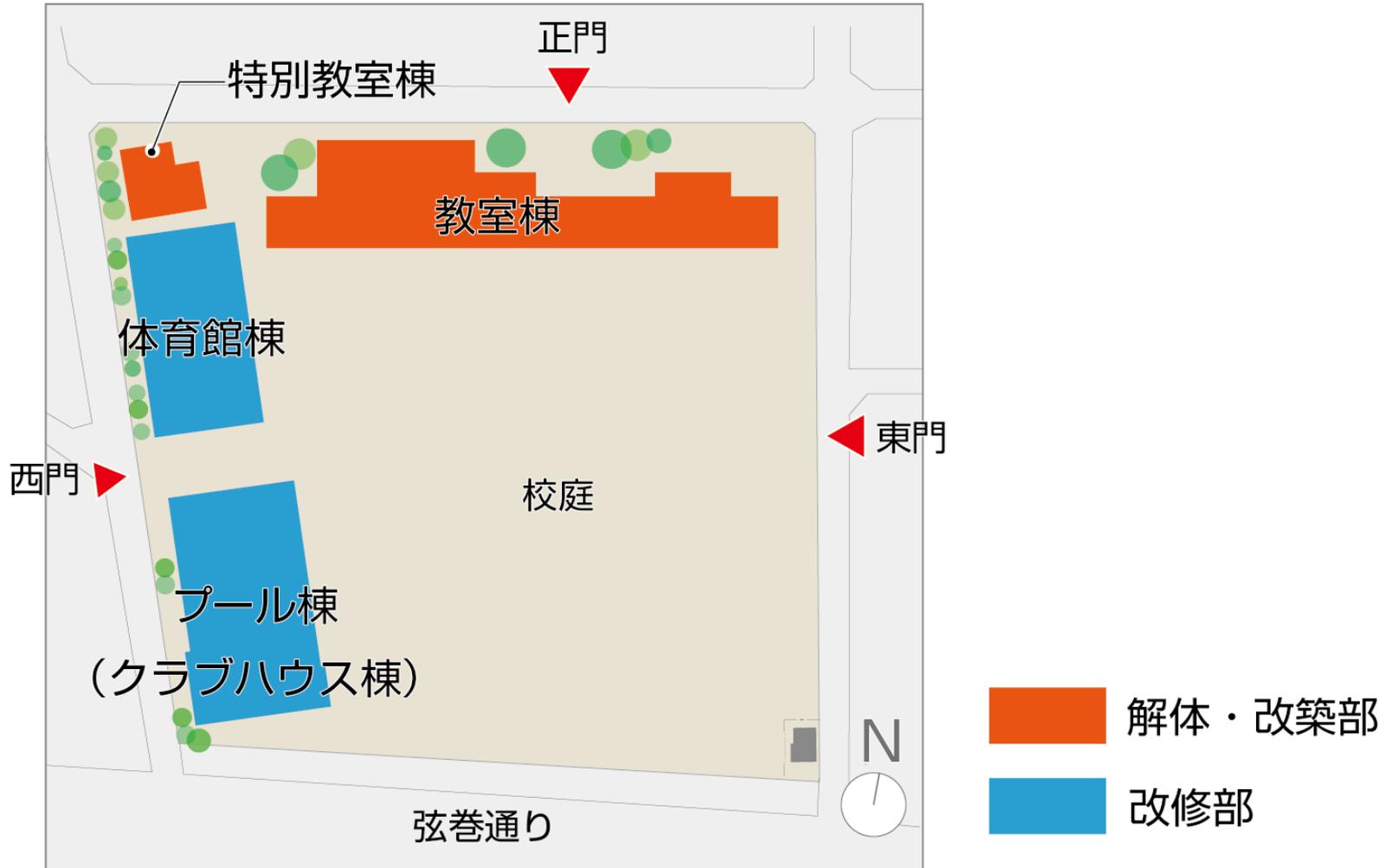
弦巻中学校改築における整備方針の基本的な考え方

- 弦巻中学校の単独改築(変更)
(松丘幼稚園との複合化の取りやめ)
- 体育館棟・プール棟(クラブハウス棟)を改修し、引き続き活用する棟別改築
(教室棟、特別教室棟の改築)

改築する建物の規模

| 建物(棟) | 既存 | 小計 | 整備後 |
|-------------------|---------------------|---------------------|--------------------------------------|
| 体育館棟 | 1,676m ² | 3,224m ² | 1,676m ² (存置) |
| プール棟 (クラブハウス棟) | 1,548m ² | | 1,548m ² (存置) |
| 特別教室棟 | 514m ² | 5,436m ² | 上限約5,655m ² (15クラスの場合) |
| 教室棟 | 4,922m ² | | |
| 延床面積合計 | | 8,660m ² | 上限約8,879m ² |

現校舎配置図



これからのスケジュール(予定)

令和4年9月まで

- 改築基本構想検討委員会が中心となって、改築基本構想(案)を取りまとめます。(全体4回のうち、第2回委員会まで開催済)

令和4年12月以降

- 改築基本構想(案)を基に、基本設計・実施設計と計画を進めます。
- 具体的な工事スケジュールは基本設計の中で計画します。

(参考) 令和5年度:基本設計 令和6年度:実施設計、仮設校舎整備等

令和7～9年度:解体工事、建築工事、外構・校庭整備等

基本方針(素案)

(1) 次代をみすえた教育環境として拡張性のある学び舎づくり

- 生徒が落ち着いて学習できる環境や活発な活動ができる広い校庭を整備します。
- 生徒数の増加や生活様式、学習形態の多様な変化に対応できる環境を整備します。

基本方針(素案)

(2) 愛着と誇りの持てる学び舎づくり

- 弦巻中学校の歴史と記憶の継承と発展に努めます。
- 地域に愛され、全ての利用者にとって親しみの持てる学校を整備します。
- 周辺の住環境への影響に配慮した計画とします。

基本方針(素案)

(3) 生徒と地域を守る安全で安心な建物づくり

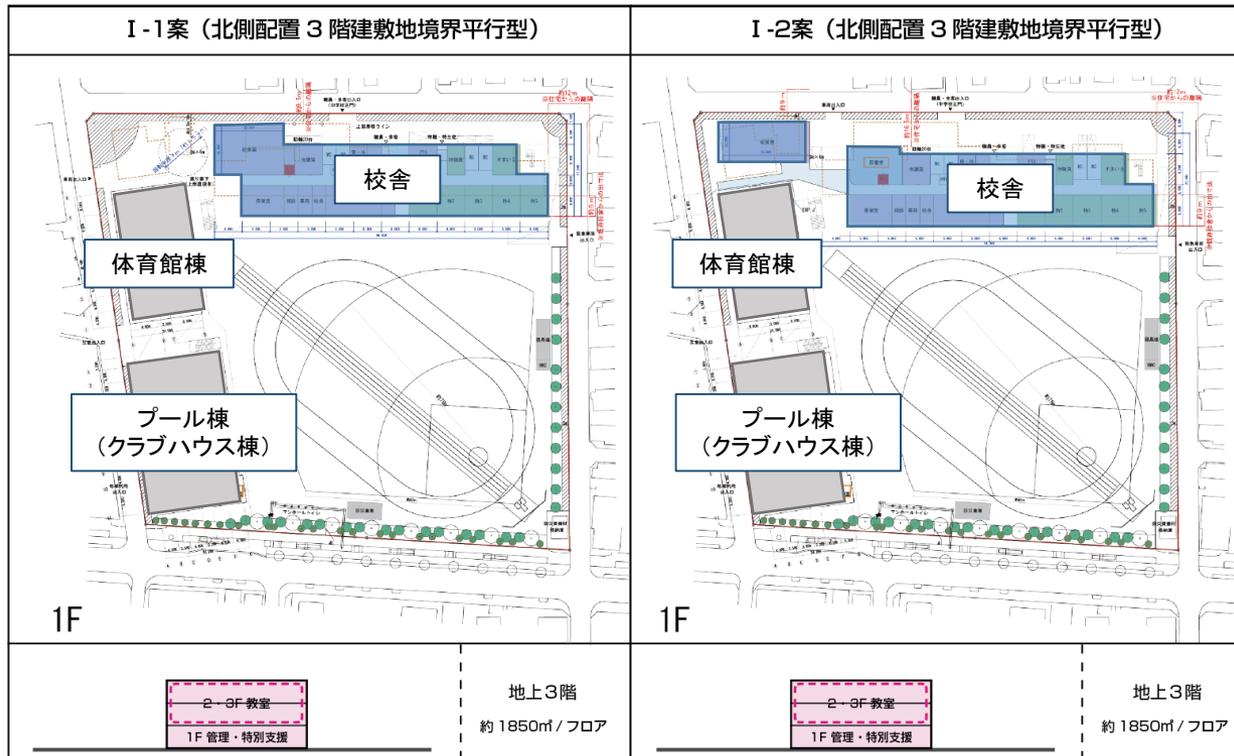
- 施設全体にユニバーサルデザインを推進し、誰もが利用しやすい安全で安心な施設とします。
- 災害時にも有効に機能し、避難所としての役割を果たす施設とします。
- 長寿命かつ将来の利用形態の変化に追従できる施設とします。

基本方針(素案)

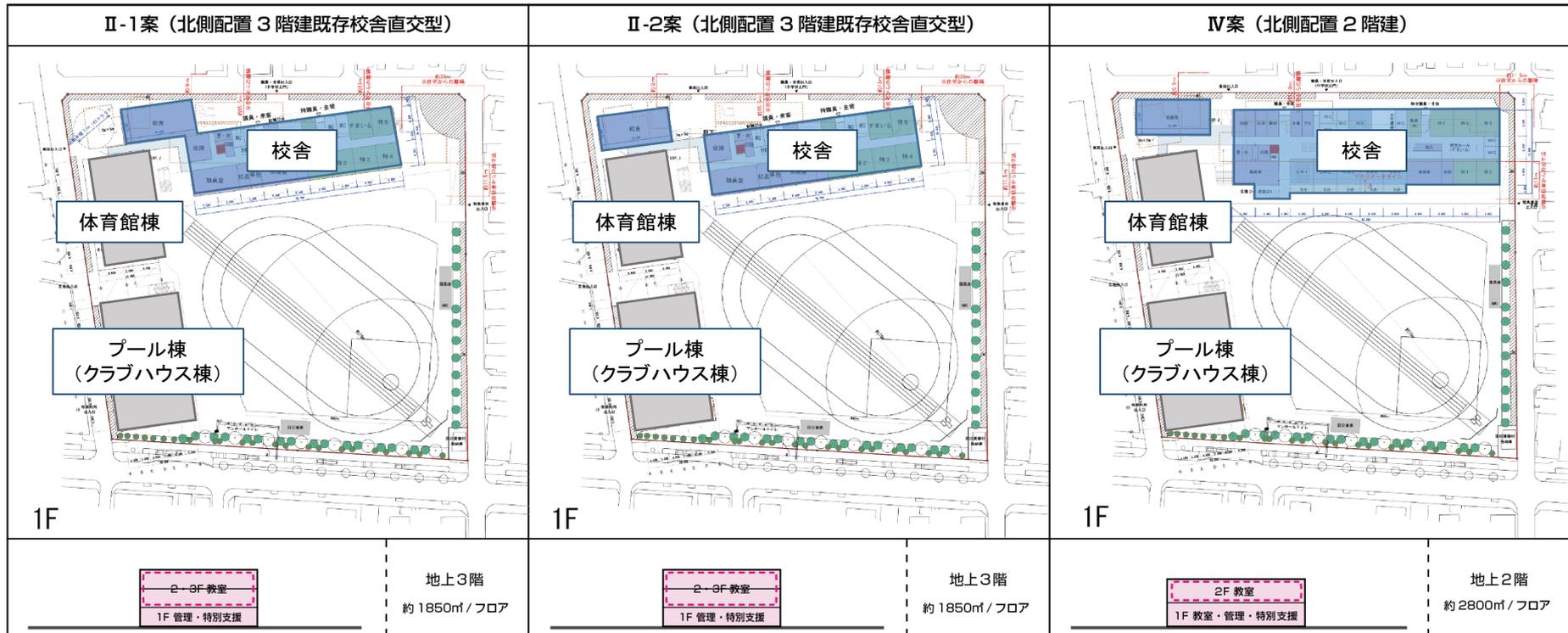
(4) 自然と人にやさしい学び舎づくり

- SDGsへの取組みに寄与し、社会や環境と調和する施設とします。
- 自然エネルギーを有効活用し、省エネの推進と快適性の向上を図ります。
- 既存樹木の保存に努めると共に、積極的に緑化し潤いのある環境を整備します。
- 木材の積極的な活用により、安らぎと温もりのある健全な活動空間を創出します。

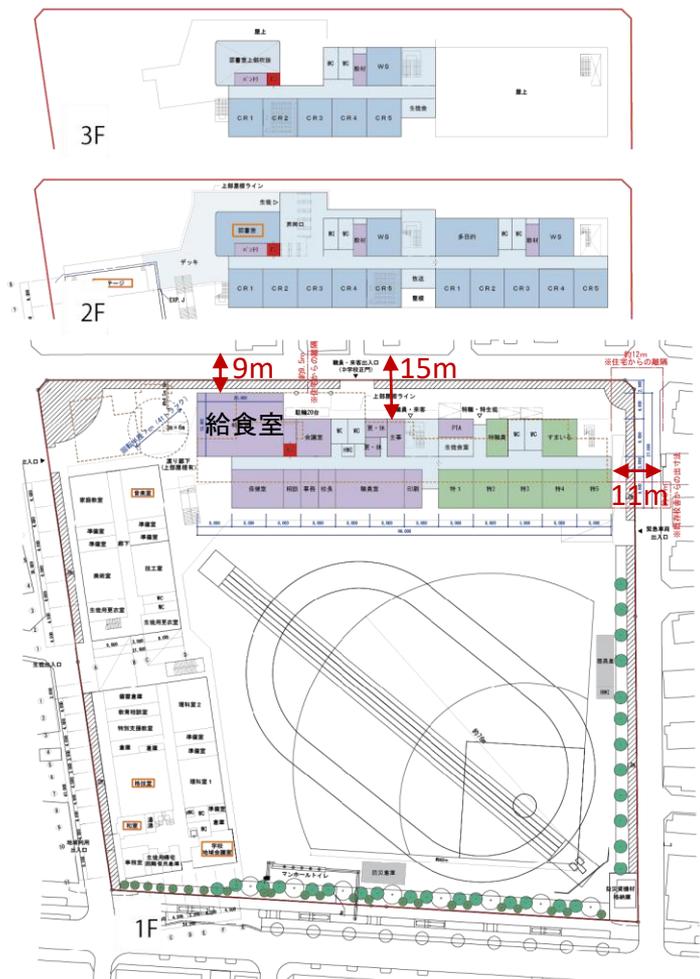
配置計画 ～検討案一覧～



配置計画 ～検討案一覧～



配置計画 I-1案(北側配置3階 敷地平行 北西角あける)

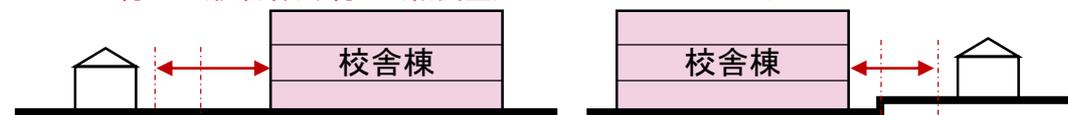


| | |
|------|---|
| 校庭 | <ul style="list-style-type: none"> 校庭を整形に確保することができる 200mトラック、100m直線レーンの確保が可能 校舎北側(北側道路側)に整形なスペースを確保できる |
| 近隣影響 | <ul style="list-style-type: none"> 既存校舎と同様の配置であるため、近隣への心理的影響が小さい 3階建となることで近接住戸への圧迫感や日照条件を改善できる 校庭からの活動音や粉塵等の影響が小さい |
| 環境対策 | <ul style="list-style-type: none"> 東西に長い建物配置となるため、比較的環境負荷を抑制できる |

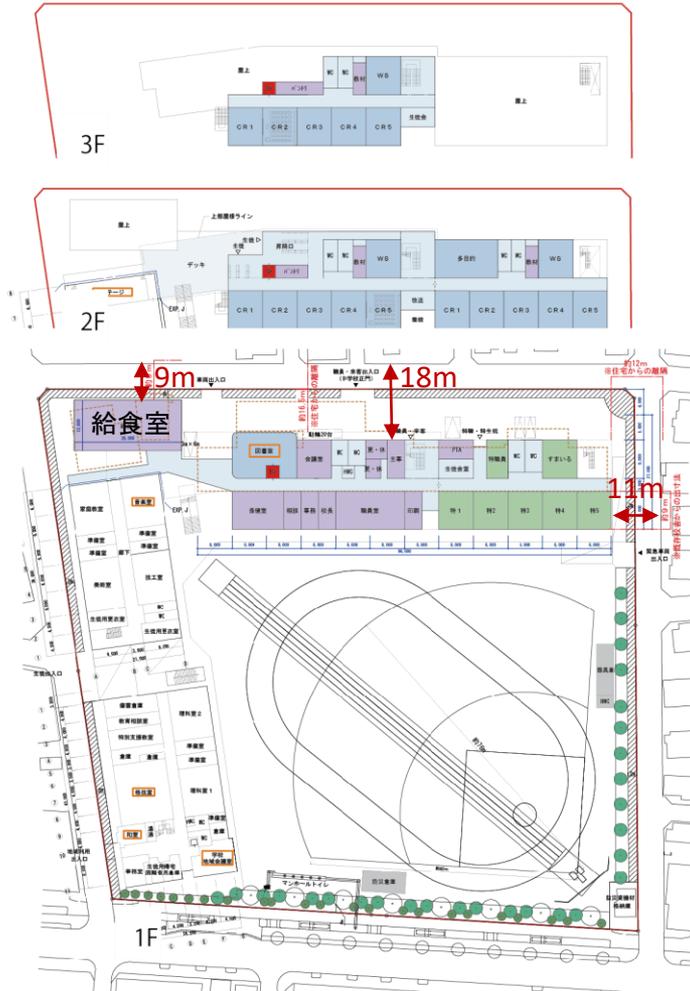


北側近隣敷地からの離隔
約15m(校舎棟)、約9m(給食室)

東側近隣敷地からの離隔
約11m



配置計画 I-2案(北側配置3階 敷地平行 給食北西側)

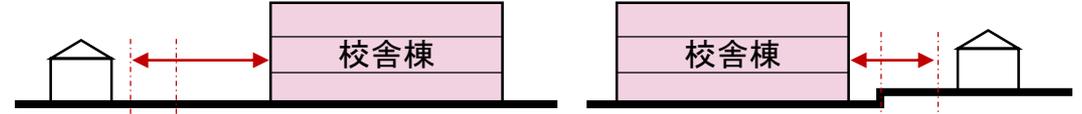


| | |
|------|--|
| 校 庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・校庭を整形に確保することができる ・200mトラック、100m直線レーンの確保が可能 ・校舎北側(北側道路側)に整形なスペースを確保できる |
| 近隣影響 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存校舎と同様の配置であるため、近隣への心理的影響が小さい ・3階建となることで近接住戸への圧迫感や日照条件を改善できる ・校庭からの活動音や粉塵等の影響が小さい |
| 環境対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・東西に長い建物配置となるため、比較的環境負荷を抑制できる |

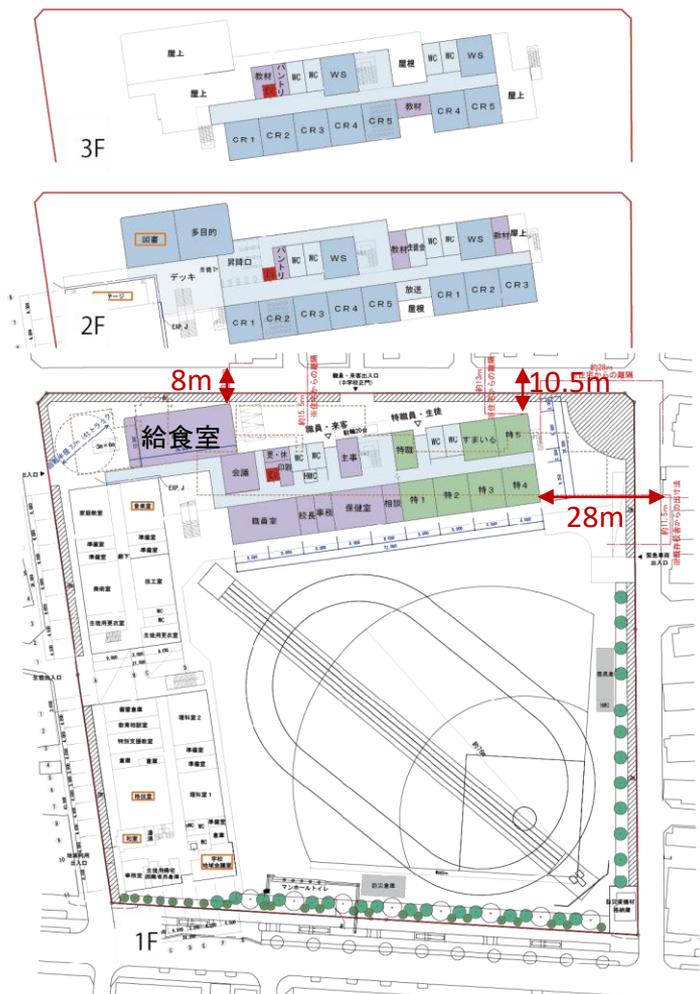


北側近隣敷地からの離隔
約18m(校舎棟)、約9m(給食室)

東側近隣敷地からの離隔
約11m



配置計画 II-1案(北側3階 既存校舎直交 北西角あける)

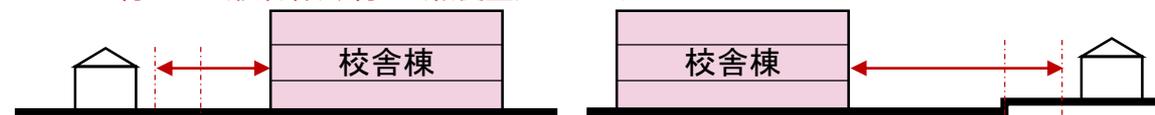


| | |
|-------------|---|
| <p>校庭</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・校庭を整形に確保することができる ・200mトラック、100m直線レーンの確保が可能 ・校庭北東部(野球ライト側)にゆとりのあるスペースを確保できる ・校舎北東側にまとまった緑地を確保できる |
| <p>近隣影響</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・既存校舎と同様の配置であるため、近隣への心理的影響が小さい ・3階建となることで近接住戸への圧迫感や日照条件を改善できる |
| <p>環境対策</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・東西に長い建物配置となるため、比較的環境負荷を抑制できる |



北側近隣敷地からの離隔
約10.5m(校舎棟)、約8m(給食室)

東側近隣敷地からの離隔
約28m



配置計画 II-2案(北側3階 既存校舎直交 給食北西角)

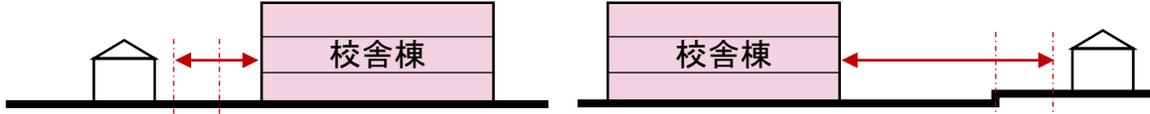


| | |
|--------------------|---|
| <p>校庭</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・校庭を整形に確保することができる ・200mトラック、100m直線レーンの確保が可能 ・校庭北東部(野球ライト側)にゆとりのあるスペースを確保できる ・校舎北東側にまとまった緑地を確保できる |
| <p>近隣影響</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・既存校舎と同様の配置であるため、近隣への心理的影響が小さい ・3階建となることで近接住戸への圧迫感や日照条件を改善できる |
| <p>環境対策</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・東西に長い建物配置となるため、比較的環境負荷を抑制できる |

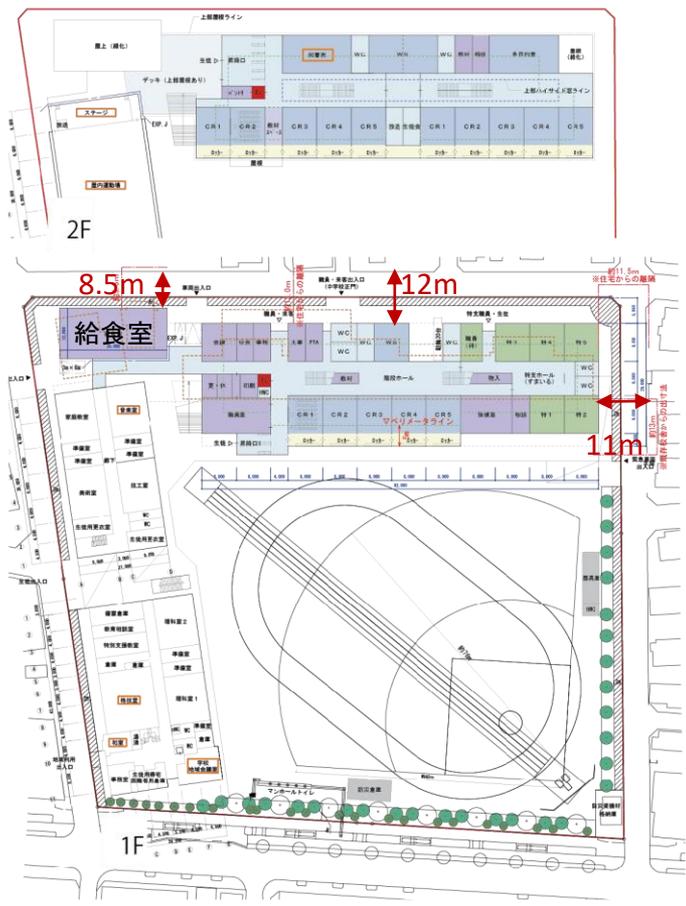
| | |
|--|-------|
| | 教室・WS |
| | 管理諸室 |
| | 共用部 |
| | 特別支援 |

北側近隣敷地からの離隔
約10.5m(校舎棟)、約10.5m(給食室)

東側近隣敷地からの離隔
約28m



配置計画 IV案(北側2階)



| | |
|------|---|
| 校庭 | <ul style="list-style-type: none"> 校庭を整形に確保することができる 200mトラック、100m直線レーンの確保が可能 校庭が他案よりやや狭くなる |
| 近隣影響 | <ul style="list-style-type: none"> 既存校舎と同様の配置であるため、近隣への心理的影響が小さい 2階建となることで近接住戸への圧迫感や日照条件を大幅に改善できる |
| 環境対策 | <ul style="list-style-type: none"> ペリメーターゾーン(※)の影響範囲を小さくできる 建築面積が大きくなるため屋上緑化や太陽光パネルのレイアウトの自由度が高い |

教室・WS
 管理諸室
 共用部
 特別支援

(※) 熱負荷の影響を受ける範囲(外壁面から5m以下の範囲)

北側近隣敷地からの離隔
約12m(校舎棟)、約8.5m(給食室)

東側近隣敷地からの離隔
約11m



ご清聴ありがとうございました
